点検・評価の結果

政府統計コード	00500217	
基幹・一般の別(選択記入)	基幹統計調査	
調査の名称	木材統計調査	
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	○	重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
		国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
		月例経済報告に利用
	○	基幹統計の作成に利用
	○	基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	○	その他（「森林・林業基本法」（昭和39年７月９日制定）に基づく「森林・林業基本計画」（令和３年６月15日決定）の策定等に利用する「木材需給表」において、木材需給・供給量として利用）
特記事項		

①　調査計画との整合性確保等の観点

調査計画との整合性 （整合している場合チェック）	☑ 1.調査の目的 ☑ 2.調査対象の範囲 ※ ☐ 3.報告者数等※（報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等） ☑ 4.報告事項とその基準期日 ※（報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間） ☑ 5.報告の方法 ※（報告を求めるために用いる方法） ☑ 6.報告を求める期間 ※ ☐ 7.集計事項※ ☐ 8.結果の公表方法及び期日 ※（調査結果の公表の方法及び期日） ☑ 9.使用する統計基準 ☑ 10.調査票情報の保存（調査票情報の保存期間及び保存責任者） ☑ 11.立入検査（基幹統計調査のみ） **一部不整合あり**

（注１）「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

（注２）不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討（予定）している事項がある場合はシート②で記載

点検・評価事項等 ＼ 不整合の項目	調査計画との整合性 不整合の概要 （該当項目に○を入力し、概要を記載。複数選択可能）	不整合が生じている場合の対応状況 対応方法 （複数選択可能）	対応状況 （選択記入）	左記対応の概要（自由記入）
3. 報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等※	○ 母集団情報 全数層・抽出層の設定 その他 抽出方法・抽出基準 対象数の算定 特記事項（○をつけた項目の概要を記載してください） 調査計画の母集団数、報告者数と実際の数に差異がある。	○ 調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備充実 実施方法の見直し その他	対応中/対応予定	次回の総務省申請時（令和10年予定）に、報告者数、母集団集を変更予定。
7. 集計事項※	○ 未集計 復元推計 未公表 その他 特記事項（○をつけた項目の概要を記載してください） 調査票の中に、審査には利用するものの集計していない調査項目があり、その取扱いを調査計画に記載していない。	○ 調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備充実 実施方法の見直し その他	対応中/対応予定	次回の総務省申請時（令和10年予定）に調査計画を変更し、「集計しない事項」として記載する。
8. 調査結果の公表の方法及び期日※	○ 公表実施時期 e-Statの掲載 その他 公表媒体 閲覧表 特記事項（○をつけた項目の概要を記載してください） 基礎調査結果の審査の際、一部の集計処理に誤りが判明し、全体の調査結果の確認、再集計に時間を要したことから公表が遅延した。（新たな公表日は農林水産省ホームページに掲載）	○ 調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 ○ 業務マニュアルの整備充実 実施方法の見直し その他	対応中/対応予定	集計用ファイルを見直し改善を図る。また、公表結果の精査に時間を要することから、恒常的に公表遅延が生じている。そのため、次回の総務省申請時（令和10年予定）に公表日を６月下旬に変更予定。

②　統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

業務マニュアル等の 整備・共有の状況 及び 実際の業務の実施状況 の確認等	□ 課題なし ☑ 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む） □ その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）

	見直し・改善の概要（自由記入）		見直し・改善の内容（左記の類型） （該当するものを選択、複数選択可能）		見直し・改善の対応方法・手段 （複数選択可能）	対応状況 （選択記入）
記入欄 No. 1	＜見直し・改善の契機＞ 　令和５年の集成材工場については、本来は全国を単位として、階層を設定し標本を抽出すべきであったが、ガイドラインの記載の解釈を誤り、他の調査対象客体と同様に、都道府県ごとに標本を抽出したため、本来調査の対象とならない客体にも調査を実施したため調査対象数が過大となった。 ＜見直し・改善の概要＞ 　令和６年基礎調査では、調査ガイドラインの正しい解釈に基づき調査対象数を算出している。今回の件を踏まえ作業上の留意点として引き継ぐこととし、ガイドラインについても、今後は誤解が生じないように記載を2026年８月中に改正する。	○	調査計画の見直し・改善 業務マニュアル等の整備・充実・改善 品質の表示 変更管理の実施 遅延調査票への対応 外部委託先からの意見や改善提案の聴取 ＤＸの実施、データのデジタル化 システムの要件・仕様の可視化 プロセス診断結果の取り込み その他プロセスの段階的な向上に向けた取組	○	調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備・充実 実施方法の見直し その他	対応中/対応予定
記入欄 No. 2	＜見直し・改善の契機＞ 　合板等用素材生産量の秋田県の公表数値について、秋田県庁から、前年に比べ大きく増加しており、また、県の独自調査結果との間に乖離があるとの疑義照会があり、再確認を行ったところ、秋田県の１調査対象工場の報告値に誤りがあることが判明し、訂正公表を行った。 ＜見直し・改善の概要＞ 　前年と比較して特に増減の大きい調査対象については、前年報告値の提示等を行いながら確認を行うよう民間事業者に改めて徹底するとともに、本省担当職員においても前年と比較して特異的な動きがあった場合は、民間事業者による単なる増減幅等の確認のみとせず、該当都道府県等に問合せ等を行い、認識のすり合わせを行った上で、本省担当職員において、直接調査対象に地域の傾向等を示して、確認を行うこととする。 　また、記入の仕方について、今回記入・分類誤りが発生した項目（樹種別・入荷都道府県別の分類）を含め内訳を伴う項目は太字にし、下線を引くなど強調することで、調査対象の記入ミスの防止を図るよう改善した。	○	調査計画の見直し・改善 業務マニュアル等の整備・充実・改善 品質の表示 変更管理の実施 遅延調査票への対応 外部委託先からの意見や改善提案の聴取 ＤＸの実施、データのデジタル化 システムの要件・仕様の可視化 プロセス診断結果の取り込み その他プロセスの段階的な向上に向けた取組	○ ○	調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備・充実 実施方法の見直し その他	対応済 対応中/対応予定

③　必要な精度の確保・向上の観点

	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 （自由記入。別紙も可）		
	精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択(複数選択可)	目安としている指標の具体的な設定内容･考え方等 （自由記入。別紙も可）	目安としている指標の設定時期 （自由記入）	今回調査 （又は前回調査）	前回調査 （又は前々回調査）	前々回調査 （又は３回前の調査）
１ 調査の実施目的を確保するための精度管理の実施状況	○ 達成精度 回収率・回答率 回収調査票数 ○ カバレッジ その他 ○ 設定なし	（基礎調査） 都道府県別（集成材生産量は全国）に各指標項目の生産量等の８割をカバーする調査対象数とし、有効回答率は右記のとおり。 なお、製材工場、合単板工場、木材チップ工場及び集成材工場について、指標項目に対する目標精度は定めていないが、それぞれの指標項目に対する実績精度は右記のとおり。 CLT工場及びLVL工場については、全数調査のため実績精度を算出していない。 （製材月別調査） 目標精度（全国） 10.0% （合単板月別調査） ・合単板月別調査は、都道府県別に単板製造用素材入荷量、普通合板生産量、特殊合板生産量の85%をカバーするよう調査対象数を算出。回収率の目標は設定していない。	（基礎調査及び合単板月別調査） 目安としている指標は設定していない。 （製材月別調査） 平成17年調査	令和６年 （基礎調査） ＜有効回答率＞ ・製材工場 78.5% ・合単板工場 76.7% ・木材チップ工場 83.5% ・集成材工場 87.9% ・LVL工場 76.9% ・CLT工場 90.0% ＜実績精度＞ ・製材用素材消費量 0.7% ・単板製造用素材入荷量 6.3% ・製材品出荷量 0.9% ・普通合板生産量 2.1% ・特殊合板生産量 1.7% ・木材チップ生産量 1.7% ・集成材生産量 1.9% 令和６年 （製材月別調査） ＜実績精度＞ 5.2～8.9% （合単板月別調査） ＜有効回答率＞ 97.4～98.7%	令和５年 （基礎調査） ＜有効回答率＞ ・製材工場 97.5% ・合単板工場 79.3% ・木材チップ工場 100.0% ・集成材工場 100.0% ・LVL工場 86.7% ・CLT工場 100.0% ＜実績精度＞ ・製材用素材消費量 0.6% ・単板製造用素材入荷量 3.1% ・製材品出荷量 0.9% ・普通合板生産量 2.7% ・特殊合板生産量 3.0% ・木材チップ生産量 1.6% ・集成材生産量 1.4% （製材月別調査） ＜実績精度＞ 1.3～2.0% （合単板月別調査） ＜有効回答率＞ 97.5～100.0%	令和４年 （基礎調査） ＜有効回答率＞ ・製材工場 91.7% ・合単板工場 89.0% ・木材チップ工場 99.5% ・集成材工場 100.0% ・LVL工場 85.7% ・CLT工場 69.2% ＜実績精度＞ ・製材用素材消費量 0.5% ・単板製造用素材入荷量 2.3% ・製材品出荷量 0.8% ・普通合板生産量 1.3% ・特殊合板生産量 1.4% ・木材チップ生産量 1.6% ・集成材生産量 1.8% （製材月別調査） ＜実績精度＞ 1.8～2.6% （合単板月別調査） ＜有効回答率＞ 85.5～93.4%